

参院選勝利、「新しい目標」達成へ！「大運動」の成功を！

中国ブロック

発行／日本共産党国会議員団中国ブロック事務所

〒703-8288 岡山市中区赤坂本町 1-31 15/11/3 NO. 42

TEL086-273-7747 FAX086-272-7108 Email [jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp](mailto:jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp)

## 春名候補、福島の現地視察。原発ゼロへ決意も新たに



春名なおあき参院比例予定候補は、10月27日から30日まで、九州ブロック比例候補いせだ良子さんとともに福島県の富岡町、双葉町、南相馬市を訪れ、被災から4年半経った現在の被災地の実態を視察しました。

視察を終えた春名候補は、「二度と人間の営みを根底から壊す原発事故を起こさない唯一の保障は『原発ゼロ』を決断し実行する以外にありません」と決意を語っています。

写真は、野積みされたままの除染ゴミを入れた黒い袋（表に「しゃへい」と記入）の前で。春名候補の視察報告は、春名ブログをお読みください。 <http://haruna.jcpweb.jp/>

## 大平議員 三江線廃止問題、上関原発問題で連日の現地調査

大平喜信衆議院議員は、中国ブロック内に山積する様々な課題で、連日の現地調査を行っています。

10月29日には、JR三江線の廃止問題で三次市を訪ねて担当部長から、実情と要望を聞きました。さらに三次市の寺戸地域で、水害対策に関する国への要望を聴取しました。

30日には、原発計画撤回でたたかう上関町祝島を訪れ、「上関原発を建てさせない祝島島民の会」代表の清水敏保さんと懇談。その後、田ノ浦の原発予定地を現地視察しました。（写真）



そして11月2日には、JR三江線廃止問題で江津市、川本町、美郷町を訪ねて、それぞれの首長と懇談しました。



### 「野党が総結集して迫りくる危機の除去を」（小林節教授、日本海新聞に）

10月31日付け「赤旗日刊紙」で紹介されていますが、日本海新聞がコラム欄「一刀両断」に憲法学者の小林節氏の『「国民連合政府」と『政策の違い』』と題する小論を掲載しています。

小林氏はその中で「複数の政党が集まって一つの政権を組織しようという以上、それぞれ政策が異なること自体は当然の障害ではない。・・・共産党は、前回の総選挙でも与党の総計以上の票を集めた野党が結集して政権を奪還して、まず何よりも『憲法』の機能を回復し、迫りくる危険を除去しようという提案をしたのである。私には、これは至極まっとうな提案に見える」と語っています。